



令和 6 年度の主な事業内容と 今後の事業の方向性について

神奈川県政策局政策部土地水資源対策課

1 令和6年度の主な事業内容

1 - 1 予算

令和6年度予算案(県実施分) : 10,759千円

※ 協議会実施分予算については調整中

施策	取組名	県	協議会
水源地域の活性化	取組1	クロスメディアによる情報発信	4,078千円
	取組2	特産品への支援	—
	取組3	水源地域の魅力を発信できる人々への支援	151千円
	取組4	連携・協働を支援する体制の整備	297千円
	取組5	地域資源を生かしたイベント等への支援	—
	取組6	エリアごとの魅力を生かした事業の支援	1,500千円
水源環境の理解促進	取組7	交流を通じた共通理解の促進	3,772千円
	取組8	教育活動を通じた共通理解の促進	830千円
その他(会議開催費等)		131千円	調整中
計		10,759千円	

クロスメディアによる情報発信

● ターゲット層を絞ったPRの実施

- 水源地域の情報を収集する媒体について、ニーズ調査で調査したところ、主に**中・高年層**から**パンフレット**への**高い需要**があった。

▶ 現状の水源地域観光パンフレットの内容を更新し、新たに**中・高年層向けのコンテンツを掲載したパンフレットの作成を行う。**

クロスメディアによる情報発信

● 水源地域の重要性をPRするシールの作成

- 主に小学校に対し、学校で使用している水道の水は、水源地域の水であることをPRするシールを作成し、配布を行う。



1-4 令和6年度の主な事業内容③

「連携・協働」を支援する体制の整備

- **ワークショップの拡充**
- 令和4年度～かながわの水源地域キャンペーンにて、案内人活動のPRを行うための**ワークショップ（体験教室等）**を実施

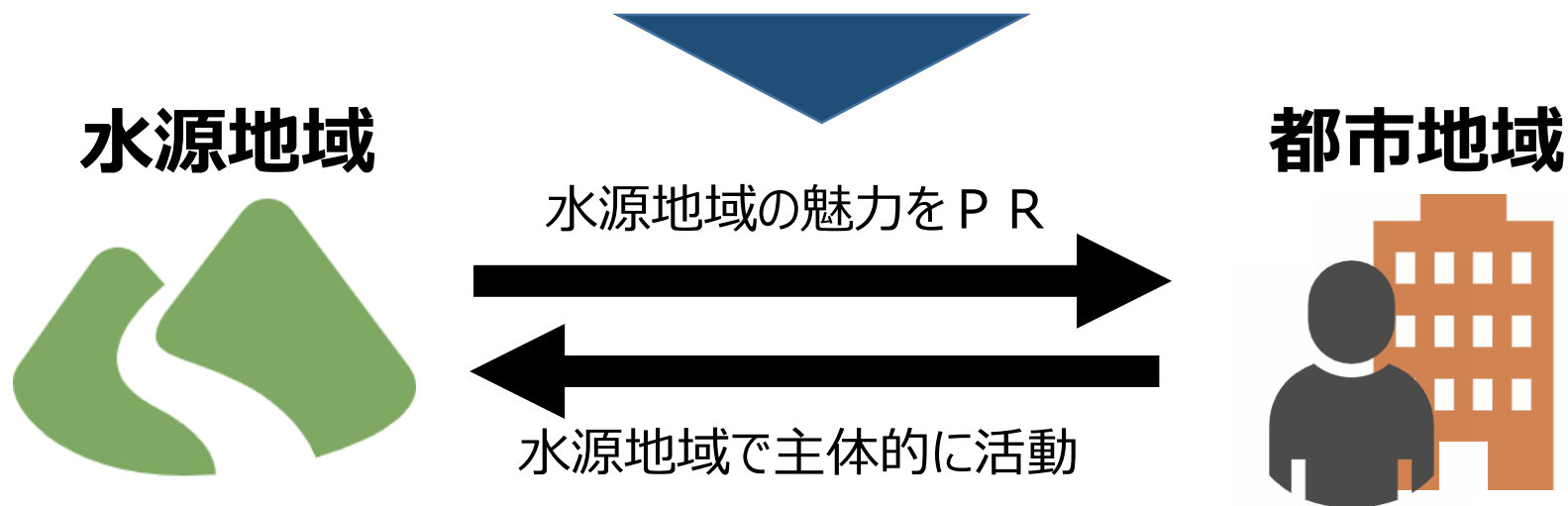


令和6年度以降は、**キャンペーン以外のイベント（都市地域開催）**でのワークショップ開催を検討していく。

2 今後の事業の方向性について

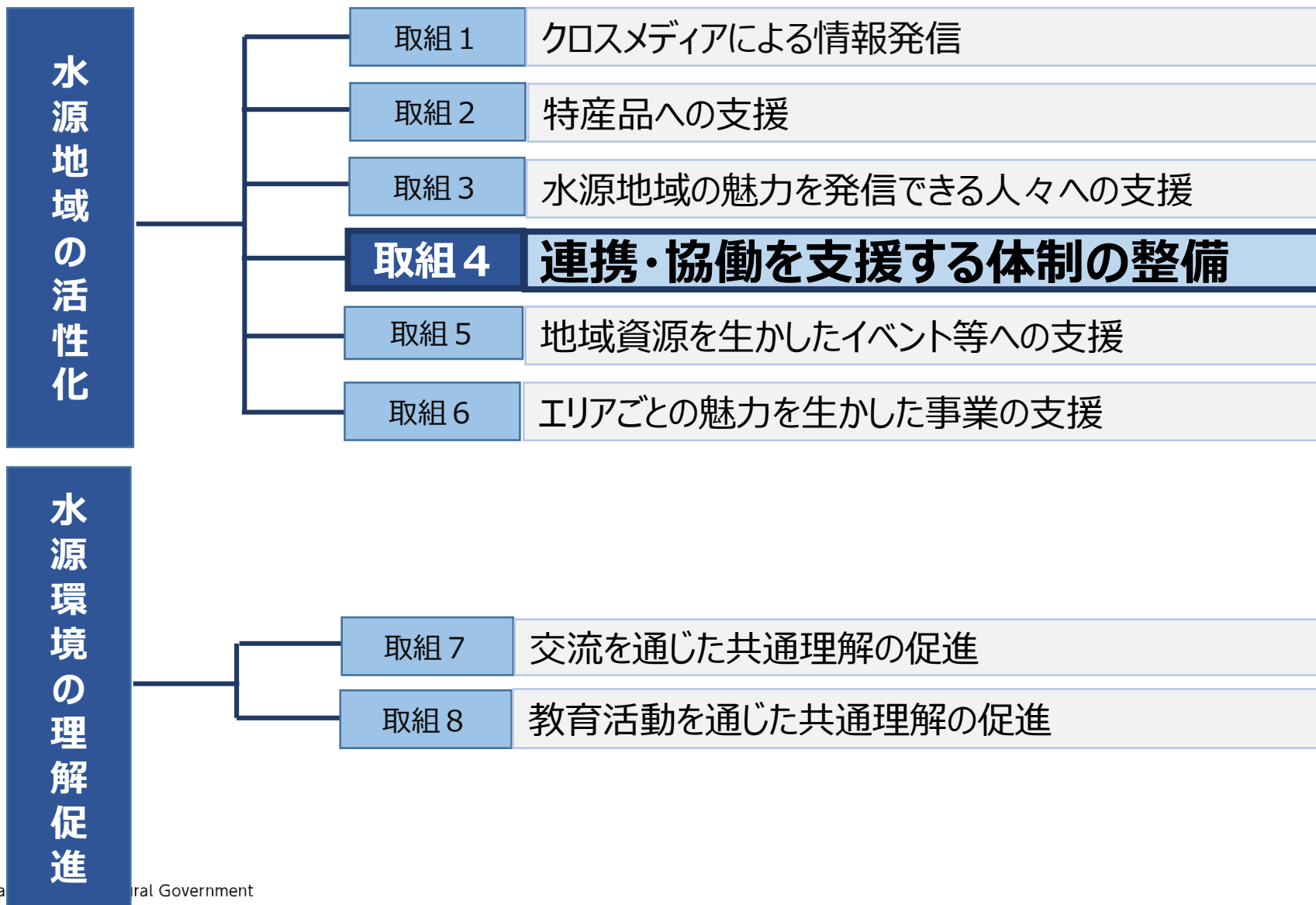
2-1 計画策定時の課題認識

- 人口減少や高齢化により、事業の継続が困難な地域あり
⇒ 担い手の確保のための支援の検討を進める必要がある



水源地域と都市地域の連携・協働を推進

2-2 かながわ水源地域活性化計画での位置付け



2-3 これまでの取組①（取組4）

ニーズ調査

水源地域に関するニーズ調査を実施

※ 県で実施する「県民ニーズ調査」を活用

令和3年度 質問項目

- 県にあるダム湖（ダム）のうち、知っているものはありますか。
- ダム湖（ダム）が観光スポットとなっていることを知っていますか。
- もし、県にあるダム湖（ダム）に行く場合、体験したいと思うものは何ですか。

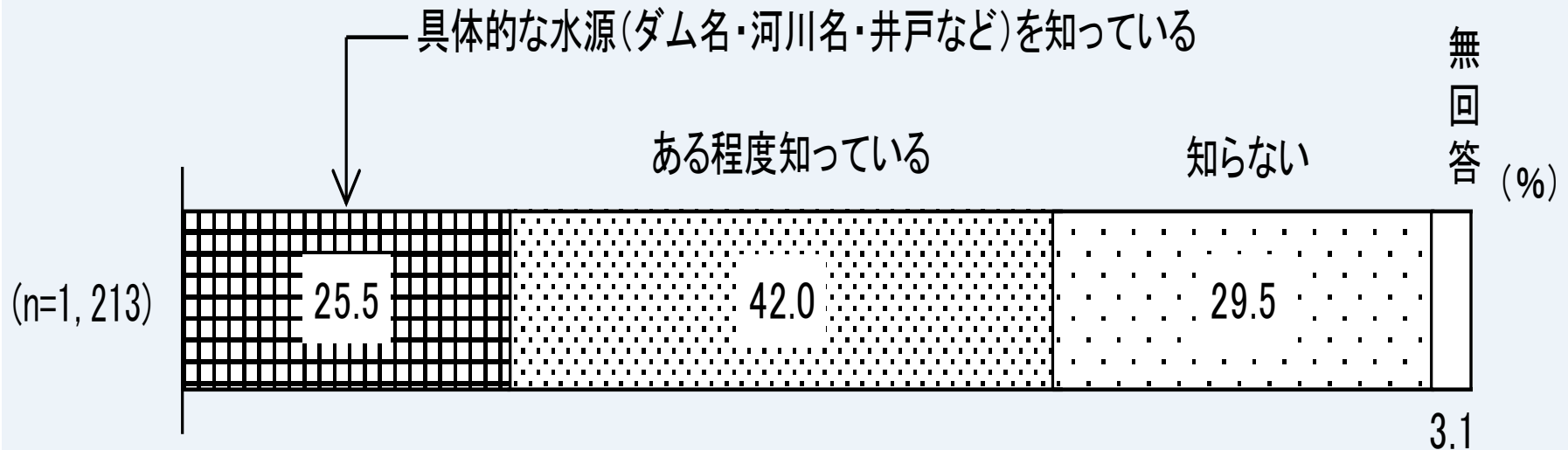
令和4年度 質問項目

- 「やまなみ五湖」に関する観光やグルメなどの情報収集をする場合、どの手段を利用したいと思いますか。
- 「やまなみグッズ」を買ってみたいと思いますか。
- 工芸品の職人や体験教室の講師など、水源地域の魅力を発信する様々な活動をしている人と現地で交流する場合、どのようなことを体験したいですか。

2-4 これまでの取組①（取組4）

令和5年度 質問・回答

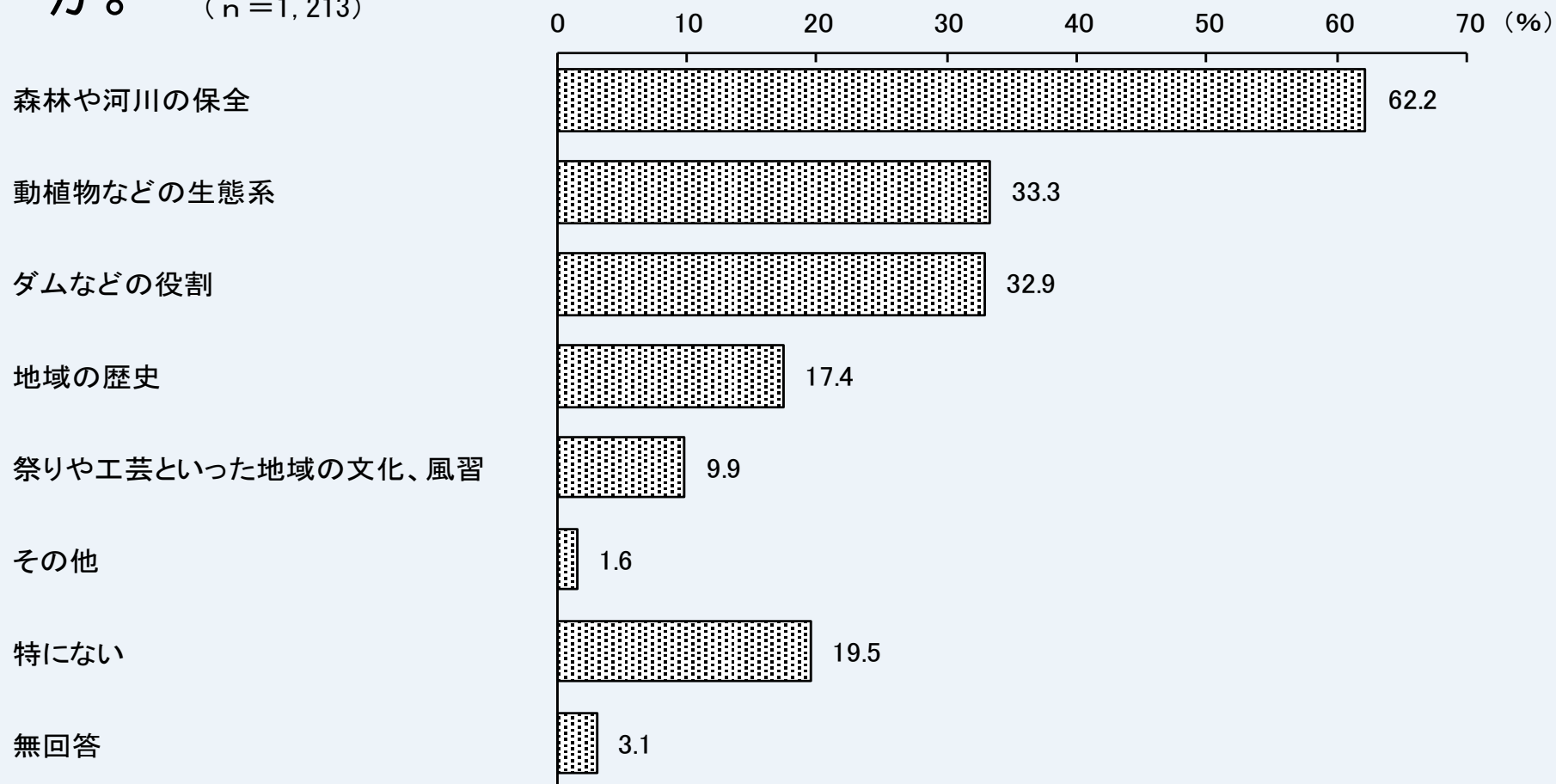
- 家で使っている水道の水源はどこか知っていますか。



2-5 これまでの取組①（取組4）

令和5年度 質問・回答

- 次のうち、かながわの水源地域について知りたいことは何ですか。（n=1,213）

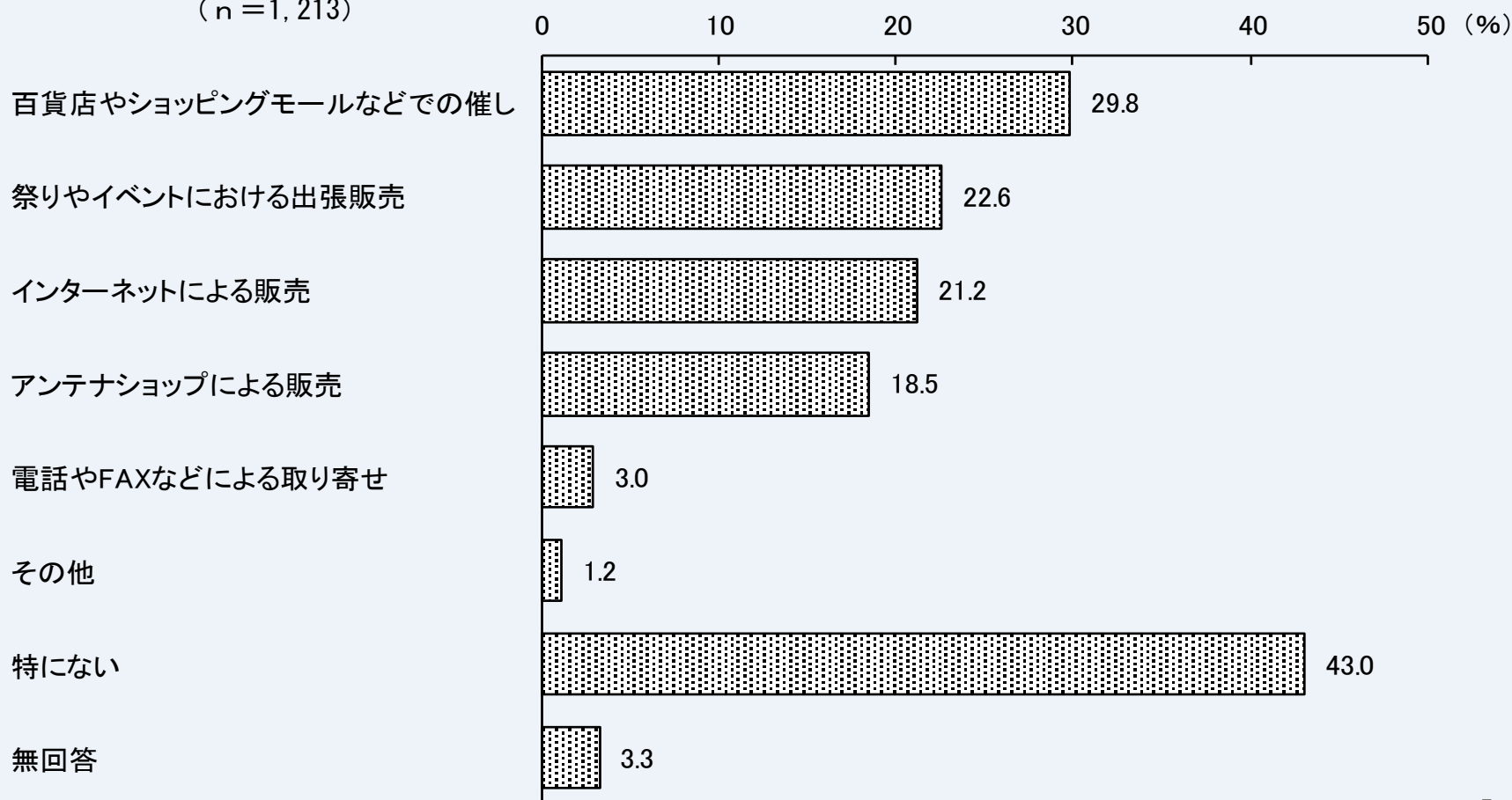


2-6 これまでの取組①（取組4）

令和5年度 質問・回答

- 水源地域の外で「やまなみグッズ」を購入したい場所や方法
はありますか。

(n=1,213)



2-7 これまでの取組②（取組4）

水源地地域の「サポーター」の発掘

水源地地域キャンペーン（川崎市）において、案内人による、水源地域での活動や水源地域の魅力に関するワークショップを開催することにより、水源地域での活動に興味を持つ都市地域住民（サポーター）を発掘



竹内 陶子 様

自ら狩猟した
動物の革を使った
革細工体験

藤野里山体験
ツアー運営協議会 様

藤野地域の竹を使った
竹細工体験



2-8 これまでの取組③（取組4）

案内人紹介動画の作成

案内人の日々の活動の魅力を動画形式で発信

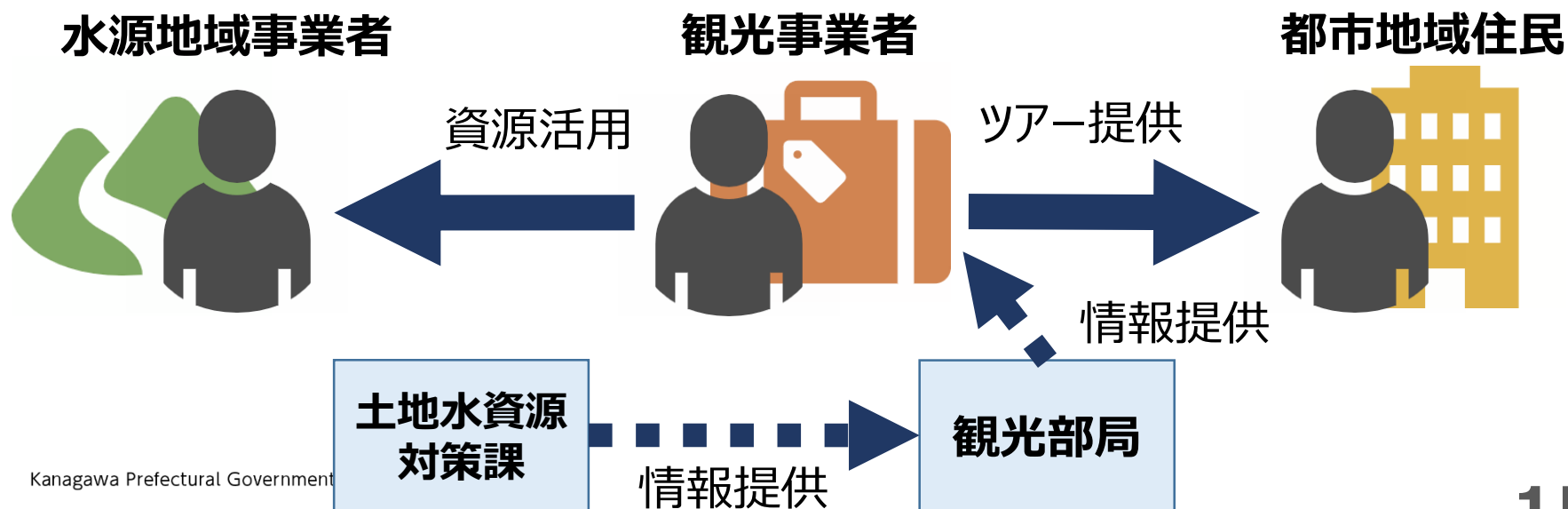


URL: <https://www.youtube.com/embed/0EK1VrApX-U?autoplay=1>

2-9 これまでの取組④（取組4）

コーディネーターの検討

- 水源地域の**地域資源**（地域のイベントや名所、体験事業等）を**観光事業者**に提供
- **都市地域**の**観光事業者**が水源地域と都市地域間の**コーディネーター**となるような仕組み作りについて、フォローアップ会議にて検討



現状と課題

- 現在は、都市地域住民**個人**を対象とした施策が**中心**
→ 都市地域の**団体**が水源地域で活動するための**環境づくり**も必要

方向性

- 現在、水源地域の団体向けに案内している**補助金制度**（自然体験交流事業）や**広報支援**について、**都市地域のNPO団体**等の団体にも情報提供することにより、水源地域と都市地域の連携・協働体制の構築を推進

2-11 取組状況を踏まえた課題・課題解決のための方向性

イメージ図

